

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画等に基づく事業)

令和 8年 1月 9日

協議会名：田布施町地域公共交通協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
田布施町	城南、西・東田布施系統	評価内容を踏まえ、福祉関係会議での周知、広報の活用や各公民館等に事業説明を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	1月当たりの利用者数は283.2人で、目標人90人以上を達成した。 収支率は、10.3%で、目標21%に達しなかった。	予約型定額乗合タクシーへと移行し、利用率、利用者数とも伸びているが、鉄道、路線バスへの乗り継ぎ利用者数が想定より伸び悩んでいる。 上記接続強化を図るために、定額料金の一部見直しを行うことで、利用者さらに収支率の向上が期待できる。
	麻郷・麻里府系統	新たな予約型定額乗合タクシーの運行開始に向けて、地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様を目指した。				
	田布施町予約型定額乗合タクシー 城南・東田布施系統	買い物送迎サービス登録者にアンケート調査を実施し、新サービスについての利用意向等の意識を確認した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	行政負担額は5,152千円で、目標6,500千円を達成した。	今後は、ダイヤ・運賃などのサービス面の改善を含め、地域のニーズにきめ細かく対応していく必要があり、利用者の利便の増進に資する取組を進めていく。
	田布施町予約型定額乗合タクシー 西田布施・麻郷・麻里府系統	公民館単位に住民説明会を行い、予約型定額乗合タクシーの運行について、要望等ヒアリングを行った。				

事業実施と地域公共交通計画等との関連について

令和 8年 1月 9日

協議会名:	田布施町地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>田布施町は、山口県東南部の瀬戸内海に面した地域に位置し、面積は50.42km²、人口は約14,000人の町である。</p> <p>路線バスは、町内的一部地域しか運行しておらず、便数が少ない路線もある。さらに、町の中心部に向けた路線や、町内を南北に縦断する路線はない。路線バス利用者は、通学・高齢者が中心で、家からバス停まで遠いとバスの利用は難しい。通院や買い物などに路線バスを利用しにくい状況で、家族や知人の車またはタクシーを利用している。</p> <p>このため、田布施町では、タクシー料金の一部を助成する高齢者福祉タクシー事業を行っているが、 ①75歳以上の高齢者のみの世帯で、自動車等を所有していない在宅生活者(初乗基本料金助成、月4枚の割合で交付) ②家族が仕事などで週に5日以上、日中に75歳以上の高齢者のみとなる世帯で自動車等を運転しない在宅生活者(初乗基本料金助成、月2枚の割合で交付)などの条件があり、以上の条件に該当しない方が多くいる。</p> <p>そこで、利用者や行き先、時間に制約があった従来の買い物送迎サービスを改善し、より多くの町民が利用できるように、年齢制限を撤廃し乗降場所を柔軟に設定した、予約型定額乗合タクシーの運行を開始している。</p> <p>今後、あらゆる問題解決を図るため、田布施町地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく地域公共交通確保維持改善事業を実施していくことで、交通弱者である高齢者に対して、買い物だけでなく日常生活の維持や、閉じこもりがちな高齢者への健康増進など総合的な福祉サービスの向上にもつながる取組を行っていく。また、田布施駅や路線バスへの乗継ぎが可能となり、町外への広域的な移動手段ができることで、総合病院や商業施設への利便性が向上する。</p>

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

田布施町地域公共交通協議会

地域公共交通計画(地域内フィーダー系統)の概要



田布施町の概要

- ・昭和30年1月に1町3村が合併
- ・人口 13,858人(令和7年11月1日現在)
- ・面積 50.42km²

協議会の構成員

田布施町 徳山工業高等専門学校 防長交通(株) 柳井地区タクシー協会
原田タクシー(株) 町社会福祉協議会 町民生児童委員協議会 各公民館
中国運輸支局 私鉄中国地方労働組合 山口河川国道事務所 柳井土木
建築事務所 柳井警察署 西日本旅客鉄道(株) 山口県 熊南総合事務組合

概 要

路線バスは、町内の一部地域しか走っておらず、便数が少ない路線もある。また、町中心部に向けた路線や町内を南北に縦断する路線はない。路線バスの利用者は、通学・高齢者が中心で、家からバス停まで遠いとバスの利用は難しく、通院や買い物などに利用しにくい。

こうしたことから、田布施町地域公共交通計画に基づく地域公共交通確保維持改善事業を実施する。この事業は、交通弱者である高齢者に対して、買い物等による日常生活の維持だけでなく、閉じこもりがちな高齢者への健康増進など、総合的な福祉サービスの向上にもつながる可能性を備えている。また、田布施駅や国道188号線幹線系統を含めた路線バスへの乗り継ぎが可能で、町外への広域的な移動手段となるため、総合病院や商業施設への利便性が向上すると考えられる。

協議会の主な取り組み

- ・地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様の協議
- ・交通計画の認定申請及び変更の協議
- ・交通計画に位置づけられた事業の実施
- ・交通計画の達成状況の評価

協議会における検討

協議会の開催状況 2回開催

- ・第1回(令和7年6月25日)交通計画の認定申請及び変更の協議
- ・第2回(令和7年12月26日)事業評価について

田布施町地域公共交通協議会 事業の評価

定量的な目標・効果

【R6.10～R7.1 買い物送迎サービス】城南・西・東田布施系統

麻郷・麻里府系統

【R7.2～R7.9 予約型定額乗合タクシー】城南・東田布施系統

西田布施・麻郷・麻里府系統

(目標)・月90人以上の利用者を確保する。(昨年度実績63.4人)

・収支率を21%以上とする。(昨年度実績13.9%)

・行政負担額を6,500千円とする。(昨年度実績1,176千円)

昨年度の買い物送迎サービスの従来利用者数、収支率をもとに、新たに目標数値を設定した。

(効果)・当該路線を維持することにより公共交通空白地域を解消し、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。

・高齢者の外出機会の増加により、健康増進の寄与、住民同士の交流による地域の活性化が図られる。

・路線バスと連携することにより、町内外の移動や沿線市町との広域的な移動利便性が向上する。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

新たな予約型定額乗合タクシー登録者・利用者の增加を目的に、買い物送迎サービス登録者における問題点やニーズを把握するためにアンケート調査を行った。

実施した利用促進策

・民生委員協議会で新たな制度の周知を行った。

・民協だより「ふれあい」へ情報掲載を行った。

・わかりやすいチラシ・利用マニュアルを作成し、全戸配布を行った。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・評価内容を踏まえ、福祉関係会議での周知、広報の活用や各公民館等に事業説明を行った。
・新たな予約型定額乗合タクシーの運行開始に向けて、地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様を目指した。

地域住民の意見の反映

・11月に買い物送迎サービス登録者にアンケート調査を実施し(回収率37.4%)、新サービスについての利用意向等の意識を確認した。

・12月に公民館単位で住民説明会を行い、予約型定額乗合タクシーの運行について、要望等ヒアリングを行った。主な意見として、料金の設定、運行時間等意見を反映して最終的な制度概要とした。

田布施町地域公共交通協議会 事業の評価

事業実施の適切性

- ・買い物送迎サービス(城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統)
計画どおり実施され、予約型定額乗合タクシーに移行された。
- ・予約型定額乗合タクシー(城南・東田布施系統、西田布施・麻郷・麻里府系統)
計画どおり実施されている。地域住民に制度説明に関する説明会を開催し、利用しやすい運行であることの意識付けの活動も行った結果、利用者数が増加傾向にある。

目標・効果達成状況

(目標)1月当たりの利用者数は283.2人で、目標人90人以上を達成した。

収支率は、10.3%で、目標21%に達しなかった。

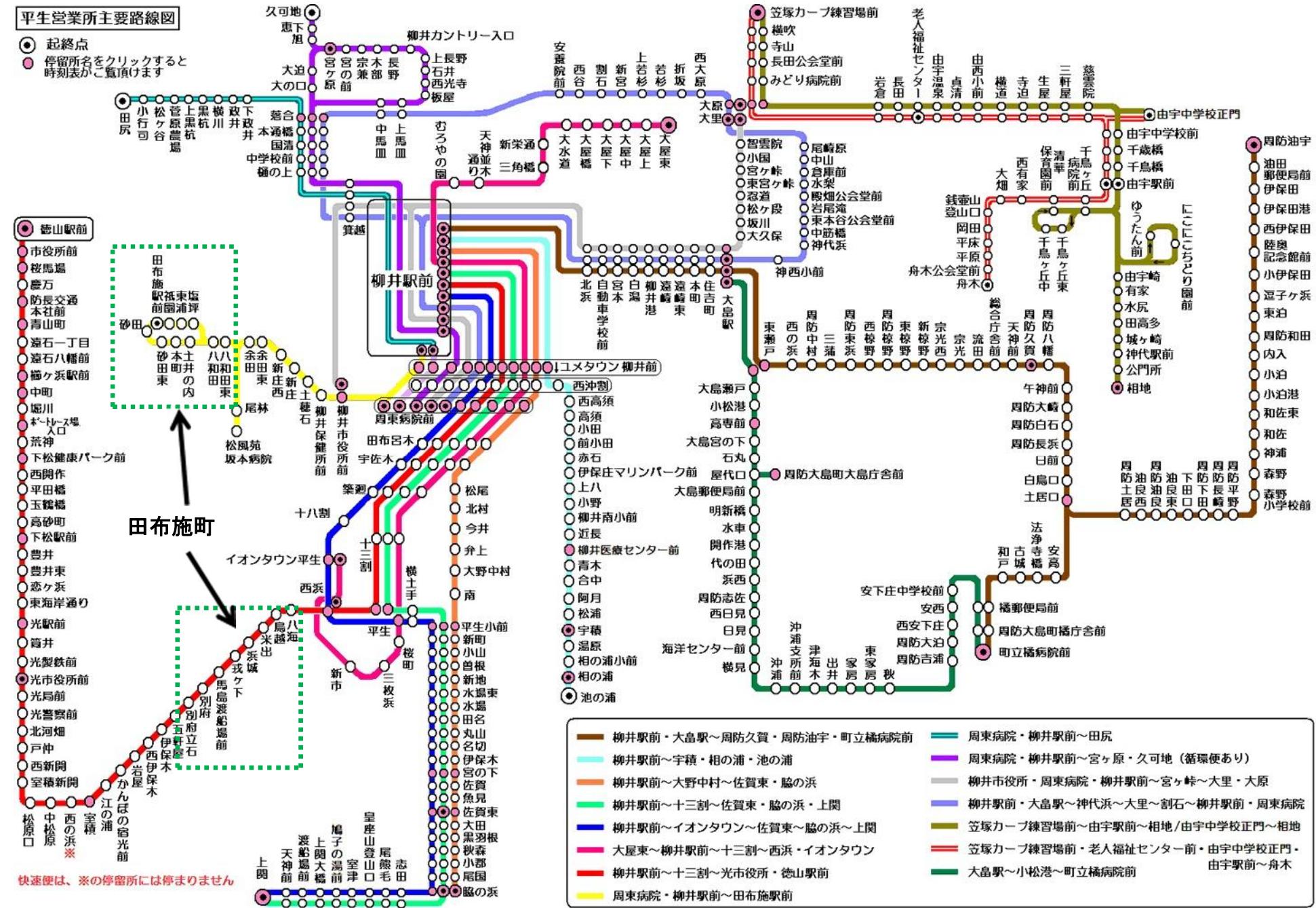
行政負担額は5,152千円で、目標6,500千円を達成した。

- ・地域行事への参加等、乗合での利用が増えている。
 - ・月曜日の利用者数が少ないダイヤがある。予約時間が前週までという理由が考えられる。
 - ・利用者数は伸びているものの、利用登録者数が伸びていないため、収支率が伸びていない。
- (効果)買い物送迎バスサービスから予約型定額乗合タクシーの移行により、地域の公共交通空白は解消していると同時に、より多くの高齢者の日常の移動手段を確保維持することができた。また、幹線バスに接続しているため広域的な移動も可能である。

事業の今後の改善点

- ・予約型定額乗合タクシーへと移行し、利用率、利用者数とも伸びている。
- ・鉄道、路線バスへの乗り継ぎ利用者数が想定より伸び悩んでいる。
- ・上記接続強化を図るために、定額料金の一部見直しを行うことで、利用者、さらに収支率の向上が期待できる。
- ・今後は、ダイヤ・運賃などのサービス面の改善を含め、地域のニーズにきめ細かく対応していく必要があり、利用者の利便の増進に資する取組を進めていく。

交通体系図 別紙



運行系統図 別紙

系統名 城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統
 運行形態 4条路線、区域デマンド型
 運行日・便数 午前1.5便、午後1.5便
 運賃 500円／回・人

系統名 城南・東田布施系統、西・麻郷・麻里府系統
 運行形態 4条路線、区域デマンド型
 運行日・便数 9時～10時30分ダイヤ2便、10時30分～デマンド便
 運賃 3,500円／月・人

